先端計測 2014

主 催： 日本学術会議 総合工学委員会・電気電子工学委員会 IMEKO 分科会

共 催（予定）： 計測自動制御学会

後 援（予定）： 応用物理学会、環境科学会、環境システム計測制御学会、システム制御情報学会、自動車技術会、情報処理学会、人工知能学会、静電気学会、精密工学会、電気学会、電子情報通信学会、日本応用磁気学会、日本機械学会、日本原子力学会、日本生体医工学、日本生体磁気学会、日本生物環境工学会、日本赤外線学会、日本塑性加工学会、日本鉄鋼協会、日本バーチャルリアリティ学会、日本分析化学会、日本リモートセンシング学会、日本ロボット学会、バイオメカニズム学会

日 時： 平成26年3月11日（火） 10:00～17:00

会 場： 日本学術会議講堂（東京都港区六本木 7-22-34）

開催趣旨

計測技術は非常に広い分野に関連する横型技術で科学技術の最先端から日常生活にわたる基礎技術として非常に重要な役割を果たしている。

計測技術は本来個別の問題解決のために創出あるいは開発されることが多い。そのため、それぞれの分野において急速な進歩発展を遂げつつあるにもかかわらず、横型技術の宿命で、縦型の専門分野の中で固有技術として埋没し、技術の本質が充分明確にされないのは大きな損失である。

本シンポジウムは特に計測と関係の深い関連学会が多数協力し、広い分野で有効な計測理論、手法、装置、システム構築などに関する最新の知見を定期的に発表討論して共通の技術資産とすることを目的とする。

それによって計測の進歩はもとより応用分野の発展を促進する。

プログラム

10:00-10:10 開会挨拶

館 暉（日本学術会議連携会員、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科特任教授）

10:10-11:00 講演 「循環制御系への直接介入による難治性循環器疾患の克服

—バイオニックブレイン（人工脳）による循環自動制御—

砂川 賢二（日本学術会議連携会員、九州大学大学院医学研究院臨床医学部門循環器内科学分野教授）

11:00-11:50 講演 「マイクロフルイディックエンジニアリングの進展とその応用」

庄子 習一（早稲田大学理工学術院電子光システム学科教授）

13:10-14:00 基調講演 「高速知能化センシングの未来 —高速ビジョンの応用展開—」

石川 正俊（日本学術会議連携会員、東京大学大学院情報理工学系研究科教授）

14:00-14:50 講演 「遠隔ハプティクス」

大西 公平（日本学術会議連携会員、慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科教授）

15:10-16:00 講演 「赤外線温度計測に基づく鋼橋梁の疲労き裂検出ならびに構造健全性評価手法の開発」

阪上 隆英（神戸大学大学院工学研究科機械工学専攻教授）

16:00-16:50 講演 「画像による分光反射率センシングと蛍光分光特性推定」

佐藤 洋一（東京大学生産技術研究所教授）

16:50-17:00 閉会挨拶

本多 敏（計測連合シンポジウム企画運営小委員会委員長、慶應義塾大学教授）

事前申し込み不要

連絡先 慶應義塾大学理工学部 本多 敏（TEL: 045-566-1609 honda@appi.keio.ac.jp）